

経営比較分析表（令和6年度決算）

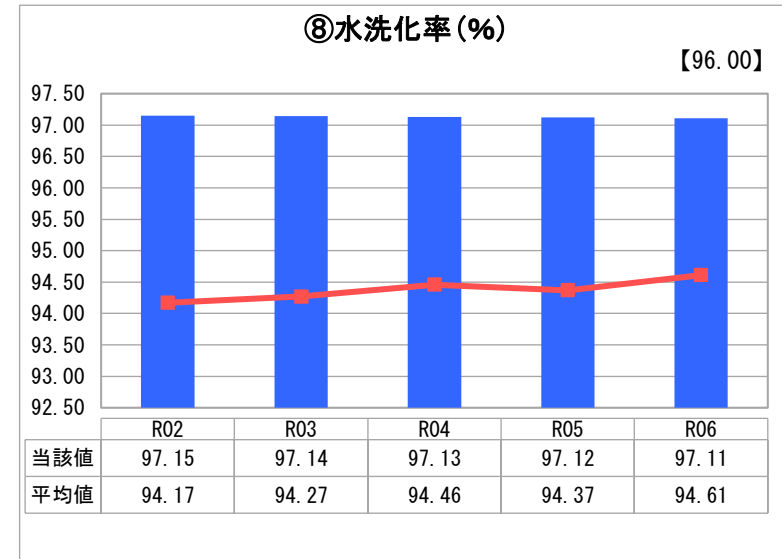
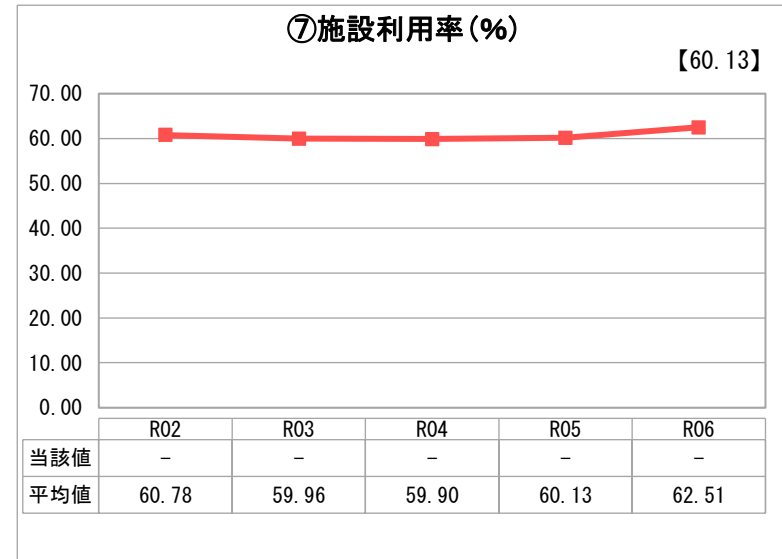
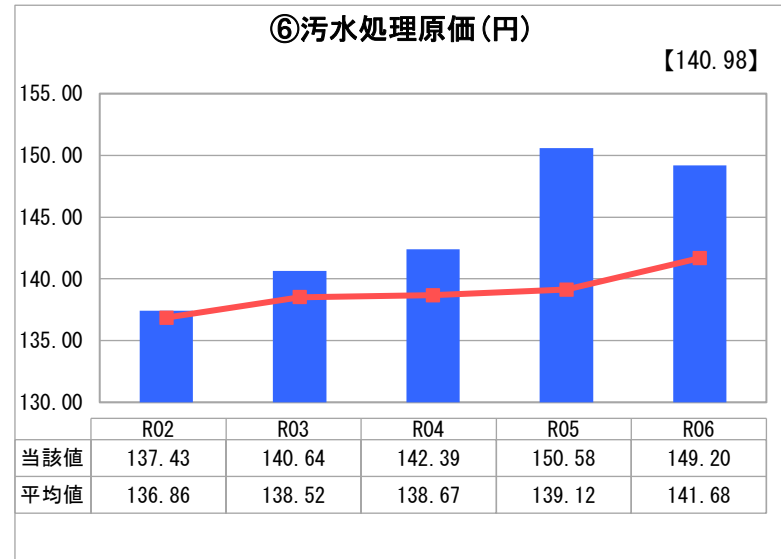
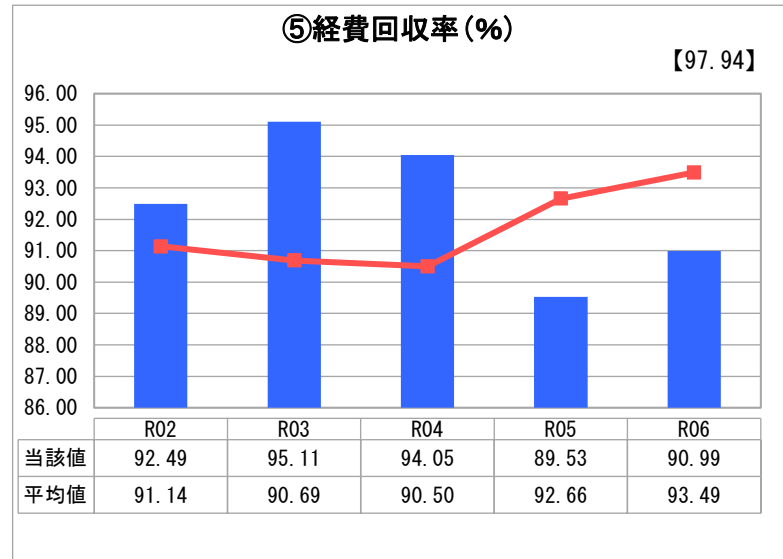
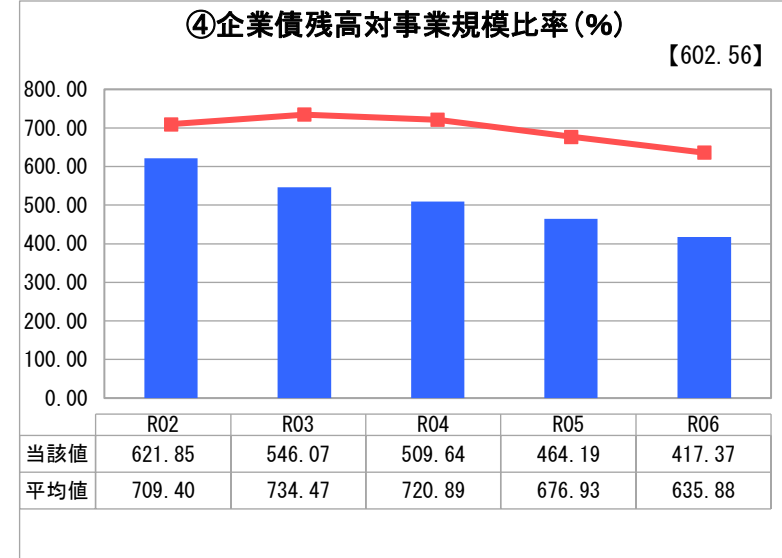
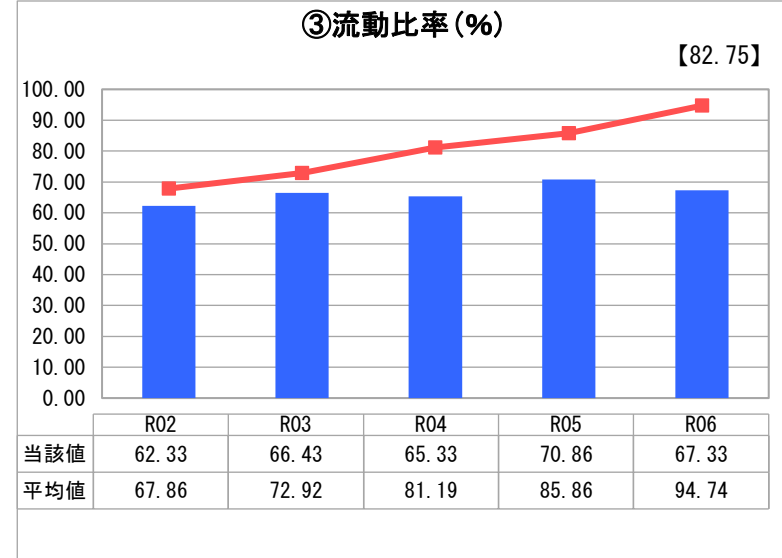
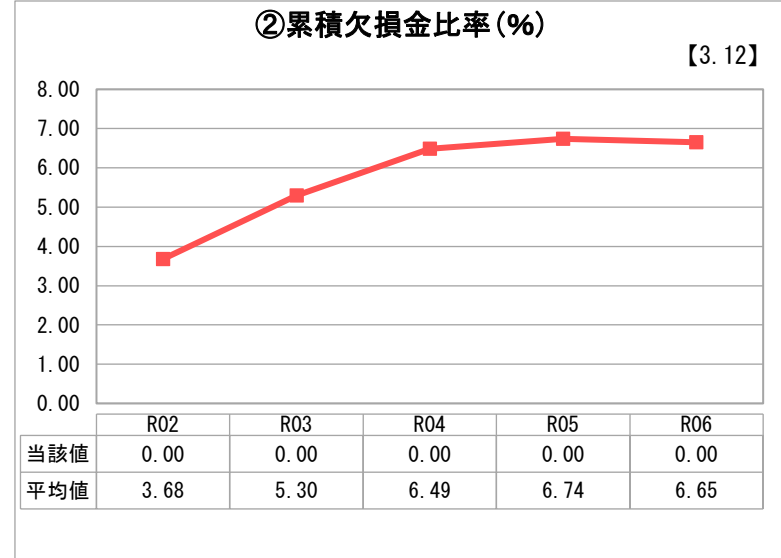
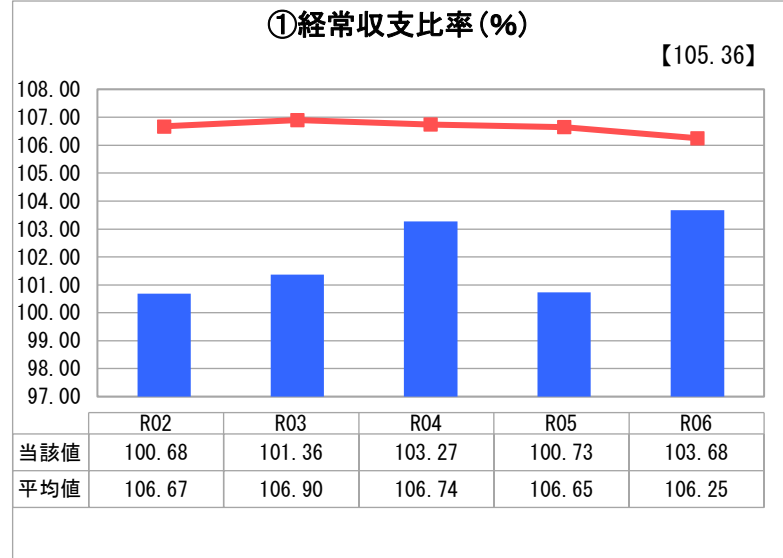
大阪府 大阪狭山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	76.12	99.99	88.69	2,222

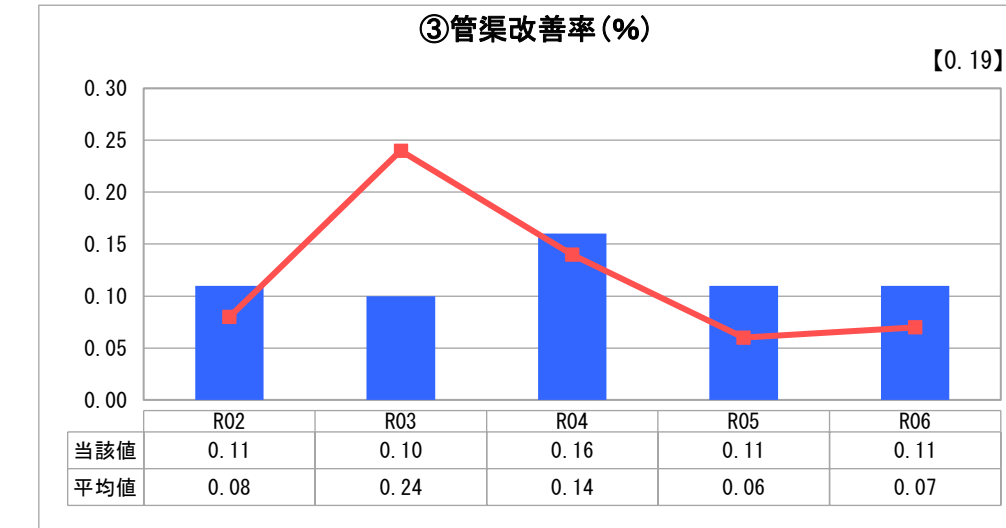
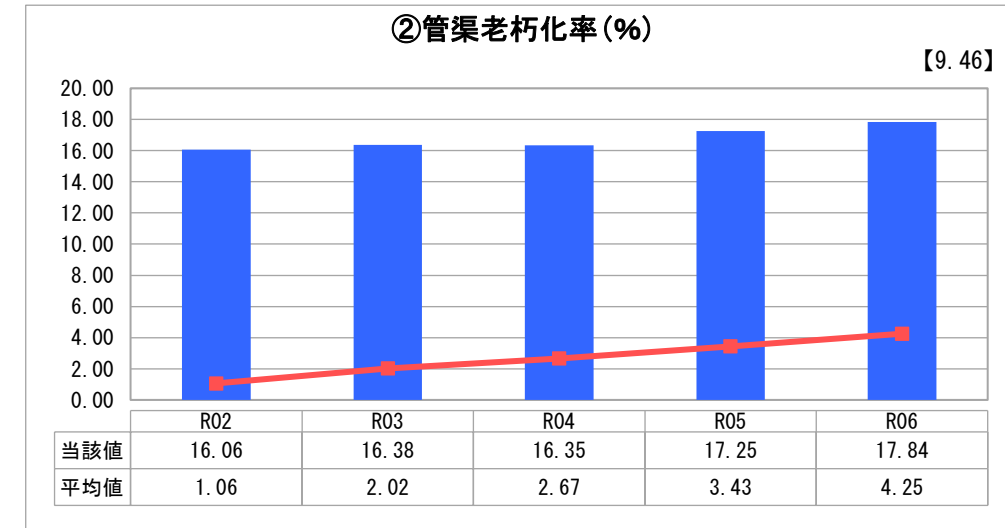
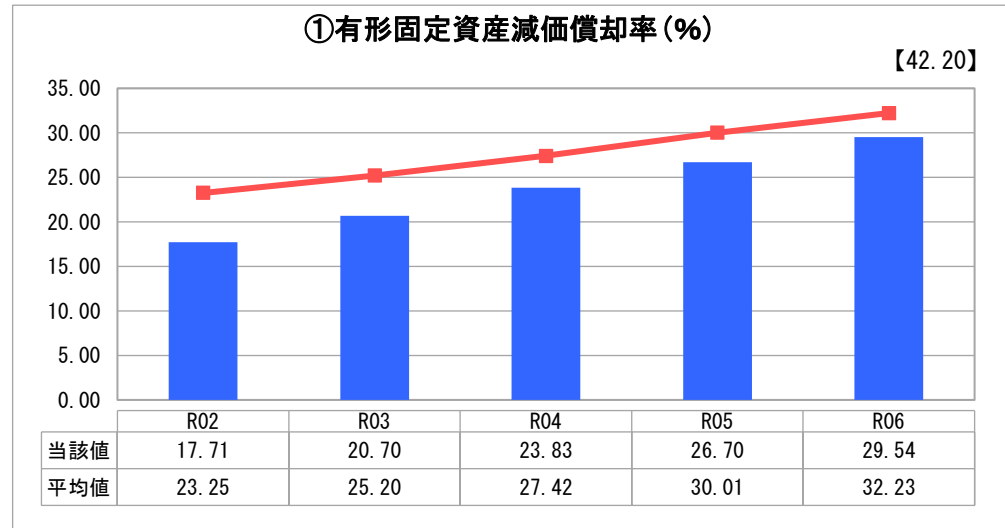
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
57,746	11.92	4,844.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
57,548	8.80	6,539.55

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、類似団体平均値に比べ低くなっていますが、100%を超えています。
 ②累積欠損金は、計上していません。
 ③流動比率は、100%以上が望ましいとされていますが、過去の下水道整備のために借り入れた企業債の償還額が大きいことから100%を下回っており、前年度と比較すると、現金預金残高が減少した結果、前年度より減少しています。
 ④企業債残高対事業規模比率は、近年償還額より借入額が少なくなっているため、前年度より低下しています。
 ⑤経費回収率は、前年度と比較すると下水道使用収入の増加と汚水処理費の減少により、経費回収率は増加しています。
 ⑥汚水処理原価は、前年度より使用量が増加したこと、汚水処理に係る維持管理費用が減少したことにより1㎡あたりの汚水処理に要した費用が減少しています。
 ⑦施設利用率は、単独処理場を設置していないため、当該値は計上していません。
 ⑧水洗化率は、早期より下水道整備を始めたことから、類似団体平均値より高く、ほぼ市内全域で公共下水道を利用いただいています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、減価償却の進行状況や資産の経過年数を知ることができる指標であり、数値が高いほど法定耐用年数に近い資産が多いことを示していますが、法定耐用年数に達する管渠が、まだ少ないことから類似団体平均値より低くなっています。
 ②管渠老朽化率は、法定耐用年数を超えた管渠延長割合を示す指標で、令和元年度より耐用年数である50年を経過した管渠が発生したことにより類似団体平均より高くなっています。
 ③管渠改善率は、当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標で、事業開始が古いことから順次更新を行っていますが、令和6年度は、類似団体平均より高い水準にありますが、急増する老朽化対策が課題となっています。

全体総括

本市の汚水整備事業については、ほぼ100%完了していますが、事業開始から相当年数が経過しており、今後は管渠の更新事業が増加していくことが見込まれます。
 経常収支比率は100%程度で推移していますが、令和6年度の経費回収率は100%を下回っています。令和7年度には下水道使用料の改定を行い、使用料収入は一時的に増加しますが、既に水洗化率も高く、将来的には人口減少が見込まれることから、使用料収入の大幅な増加が見込めない状況です。
 こうした状況においても安定的な経営を継続していくため、令和6年3月に改定した経営戦略に基づき、更なる経営の改善に努めてまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。